

鮮烈!  
いま聴きたい!

日本を牽引する若手奏者  
シュトゥットガルト放送響の名手



兵庫県立  
芸術文化センター

# ルートヴィヒ・ チェンバー・プレイヤーズ・ シュトゥットガルト



ヴィオラ

ヤニス・  
リールバルディス

ヴァイオリン

エミリー・  
ケルナー

ヴァイオリン

白井 圭

チェロ

横坂 源

コントラバス

幣 隆太郎

クラリネット

ディルク・  
アルトマン

ホルン

ヴォルフガング・  
ウィッブラー

ファゴット

ハンソ・ドネヴェーグ

©newears.de

## ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン ~ その名を冠するアンサンブルが贈るプログラム

ベートーヴェン(M・ウッキ編):

### エグモント序曲

Beethoven: Overture to "Egmont" op. 84 for chamber octet by M.Ucki

ヨハネス・マリア・シュタウト:

### 新作〈世界初演〉

~ベートーヴェン生誕250周年に寄せて~

Johannes Maria Staud (1974-): NEW PIECE (World Premiere)

ベートーヴェン(タルクマン編):

### ヘンデルのオラトリオ「ユダス・マカベウス」から 「見よ、勇者の帰還を」の主題による変奏曲

Beethoven: Variations of «See the conquering hero comes» from Händel's Oratorium «Judas Maccabäus» WoO 45 arr. for ensemble by A.N. Tarkman

### ベートーヴェン: 七重奏曲

Beethoven: Septet E-flat major op. 20

※「七重奏曲」はエミリー・ケルナー以外の7名  
その他は全員で演奏予定

2020. **11/23** (月・祝) 2:00 PM開演(1:15PM開場) 兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール  
A¥4,000 B¥3,000 (税込/全席指定) 〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22阪急西宮北口駅南改札ロスク/JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

10/24(土)  
発売

チケット  
取扱い  
お問合せ

芸術文化センターチケットオフィス ☎ 0798-68-0255 (10:00am-5:00pm 月曜休み ※祝日の場合翌日)

インターネット予約 ▶ <http://www.gcenter-hyogo.jp>

窓口での販売(残席がある場合)は10/25(日)より 主催:兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



〈チケットご購入のお客様へ お願い〉 新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。

※芸術文化センターでの販売は、来場者情報把握のため、先行予約会員に登録いただける方に限定させていただきます。  
一度のご購入につきお一人様2枚までとさせていただきます。  
※入場者数を制限して販売いたします。 ※37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。 ※来場時にはマスクの着用をお願いします。  
※感染の再拡大等により、公演の中止や、出演者、公演内容、座席配置等が変更となる場合がございます。 ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。



ご来場前にウェブサイト掲載の  
「お客様へのお願い」を  
ご確認くださいませようお願いします。

L U D W I G C H A M B E R P L A Y E R S S T U T T G A R T

# 満を持して 待望のベートーヴェン!

2018年、芸術文化センター初登場の公演。

エネルギーにあふれた演奏で、  
ルートヴィヒ・チェンバーは  
観客の心を驚嘆みにしました。

日本の若手を代表する奏者として  
八面六臂の活躍を見せる3人

— ミュンヘンコンクール入賞者の

白井圭 (ヴァイオリン)、横坂源 (チェロ) と、

西宮高校出身で現在はシュトゥットガルト放送響に在籍する幣隆太朗 (コントラバス) — と、  
ドイツの名門シュトゥットガルト放送響のメンバーが奇跡的に出会い結成されたアンサンブル。

いまやドイツをはじめとする一流コンサートホールで演奏を重ねるほか、  
録音が国際クラシック音楽大賞にノミネートされるなど、活躍は留まるところを知りません。

前回はシューベルトの八重奏曲が目玉でしたが、今回はやはり生誕250年のベートーヴェン!

“ルートヴィヒ” という名からわかるように、彼らが敬愛する作曲家です。

演奏機会が貴重な名曲、七重奏曲に加え、記念イヤーにちなみ

ウィーンの作曲家シュタウトに委嘱した新作の世界初演など、彼らにしか演奏できないプログラム。

室内楽だからこそ得られる興奮と感動に満ちたコンサートとなるに違いありません!

## LUDWIG CHAMBER PLAYERS STUTTGART

### ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト

2013年、欧州で活躍する日本人若手演奏家とシュトゥットガルト放送響のメンバーたちが、シュトゥットガルトで奇跡的な出会いを果たし、尊敬する作曲家ベートーヴェンにあやかり「ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ」としてグループが結成された。— 興奮を呼び起こす名人芸と、心からの演奏する喜び — をモットーに、異なる背景を持った8つの個性が彼ら独自の世界を奏でている。

18~19世紀の室内楽作品を中心に、近・現代音楽にも意欲的に取り組むこのアンサンブルは、定期的に日本ツアーを行っている。2013年東京・春・音楽祭に出演、続く2014年はラ・フォル・ジュルネをはじめ全国6都市、2015年は全国6都市のツアーを展開。2016年、2018年にも全国ツアーを行い好評を得た。

ドイツでは、これまでにシュヴェツィンゲン音楽祭や、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス、ベルリン・コンツェルトハウス、そしてベートーヴェンの生家であるボン・のベートーヴェンハウスなどで演奏。

2018年からは、シューベルトの八重奏曲を常に演奏できる様、もう一人のヴァイオリニストとしてエミリー・ケルナーを迎え8名編成とし、レパートリーの拡大をめざしている。名称も「ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト」と改名し、さらに発展した活動をヨーロッパとアジアで繰り広げている。

ベートーヴェン生誕250年である本年は、この作曲家の名前を冠したアンサンブルにとって特別な年であることは当然であり、2020年初頭にはシュトゥットガルトにおいて、フーゴ・ヴォルフ協会と南西ドイツ放送曲 (SWR) の共同プロジェクトとして、A.N.タルクマンがこのアンサンブルのために新たに編曲をした、ベートーヴェンの連作歌曲集「遙かなる恋人に」と、M.ウツキの編曲による歌曲「アデライーデ」を、将来が期待されるトルコ系オーストリア人のテノール歌手、イルカー・アルカユレックとともに初演をし、成功を収めた。このプロジェクトは後日CPOLレーベルよりリリースされる。

また、当代の作曲家との交流も彼らにとって大変重要なことと位置づけており、このベートーヴェンの記念年に合わせ、今世界的に注目されているオーストリア人作曲家のヨハネス・マリア・シュタウト氏に作品を委嘱、2020年秋の日本ツアーでの世界初演が期待されている。

現在モーツァルトのクラリネット五重奏曲と、バセットクラリネット協奏曲を収録した3枚目のCDがTACETレーベルよりリリースされている。2枚目のプロコフィエフを取り上げたCDは国際クラシック音楽大賞 (ICMA) にノミネートされた。



ヴァイオリン **白井 圭** Kei Shirai, Violin

2007年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位及び聴衆賞等受賞歴多数。ソリストとして活躍するほか、2020年4月よりNHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターに就任。



ヴァイオリン **エミリー・ケルナー** Emily Körner, Violin

アメリカ出身。2002年より、シュトゥットガルト放送交響楽団の第2ヴァイオリン首席奏者を務める。また、ヘーゲル弦楽四重奏団の創設メンバーとしても活躍中。



ヴィオラ **ヤニス・リールバルディス** Janis Liebardis, Viola

ラトビア出身。ギドン・クレーメルが指揮を務める、“KREMERata Baltica”に首席ヴィオラ奏者として招かれる。2004年よりシュトゥットガルト放送交響楽団に在籍。



チェロ **横坂 源** Gen Yokosaka, Cello

2010年ミュンヘン国際音楽コンクールで第2位を受賞。日本の主要オーケストラ、バイエルン放送交響楽団、ミュンヘン室内管弦楽団などのオーケストラと共演。



コントラバス **幣 隆太朗** Ryutaro Hei, Contrabass

2007年シュトゥットガルト放送交響楽団に入団。10年よりサイトウ・キネン・オーケストラのメンバーとして公演に参加。兵庫県立西宮高校音楽科出身。



クラリネット **ディルク・アルトマン** Dirk Altmann, Clarinet

ドイツ出身。1985年よりシュトゥットガルト放送交響楽団首席クラリネット奏者。ソリストとして多くの有名オーケストラとの共演、室内楽のCD録音等、ドイツで活躍。



ファゴット **ハンノ・ドネヴェーグ** Hanno Dönnweg, Bassoon

ドイツ出身。2002年よりシュトゥットガルト放送交響楽団のソロ奏者。多くの国でマスタークラスを開き、後進の指導にも積極的に活動しているほか、録音者として共演を重ねる。



ホルン **ヴォルフガング・ウィプフラ** Wolfgang Wipfler, Horn

ドイツ出身。ドルトムント歌劇場、シュトゥットガルト州立歌劇場を経て、2004年よりシュトゥットガルト放送交響楽団の首席奏者。2010年よりバイロイト祝祭管弦楽団の首席奏者。